

## タイにおける現地情報

2024年11月15日  
HS-TECH ENGINEERING  
橋本真也  
Sunisa Thammaphrot  
Sasiton Treeprak

## 1 本邦外務省による ASEAN 各国の親日度調査(各国:300人調査)

## 1.1 あなたにとって現在、重要なパートナー国または機関

本邦外務省は定期的に「海外における対日世論調査」を実施している<sup>1</sup>。2023年の調査で日本を「現在、重要なパートナー国」のトップに選択(複数回答可能)したのは ASEAN9 ヶ国(ミャンマーを除く。)で、一ヶ国もなかった。また、米国をトップとした国はフィリピン(78%)、ベトナム(70%)の二ヶ国であった。

一方、中国をトップとした割合が最も高かった国は、タイ(61%)、シンガポール(64%)、カンボジア(38%)、マレーシア(59%)の四ヶ国であった。なお、ラオスは「わからない」と回答した国民が最も多く 38%を占めた。

図・表 1-1 現在、重要なパートナー国・地域(2023年)

単位:%

パートナー国・地域	あなたの国								
	タイ	シンガポール	インドネシア	カンボジア	フィリピン	ブルネイ	ベトナム	マレーシア	ラオス
中国	61%	64%	58%	38%	28%	59%	55%	59%	9%
日本	56%	42%	59%	30%	61%	53%	68%	43%	4%
米国	46%	46%	37%	18%	78%	47%	70%	37%	5%
ASEAN	24%	51%	69%	21%	55%	60%	34%	54%	15%
EU	15%	21%	29%	13%	17%	27%	41%	19%	4%
韓国	14%	18%	32%	10%	33%	25%	52%	20%	2%
英国	14%	29%	18%	10%	29%	35%	22%	28%	6%
ロシア	11%	5%	35%	9%	14%	8%	38%	10%	2%
オーストラリア	10%	30%	28%	13%	33%	14%	26%	28%	4%
ドイツ	9%	15%	18%	10%	16%	8%	18%	10%	1%
わからない	9%	9%	1%	3%	2%	0%	1%	4%	38%
インド	9%	20%	11%	8%	8%	23%	20%	21%	3%
インドネシア	8%	30%	0%	12%	14%	40%	9%	44%	2%

出所：外務省「海外における対日世論調査(令和5年 ASEAN)」から作成

複数回答可能、ミャンマーのデータ無し。

<sup>1</sup> <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/pr/yoron.html>

## 1.2 あなたにとって最も信頼できる国・地域

### 1.2.1 日本

タイでは2017年から2021年までは、日本を最も信頼できると答えた国民が大幅な減少傾向にあったが、2023年は108名と2017年時点の118人に近づいた。一方、ミャンマーを除くASEAN各国の国民で2023年、日本を最も信頼できる国のトップとしたのは、タイに加えてベトナム(87名)、カンボジア(66名)のわずか3ヶ国であった。残りの6ヶ国で日本をトップに選択した人数はインドネシア(24人)、シンガポール(30名)、マレーシア(33人)と、回答者の10%程度に過ぎない。

### 1.2.2 中国

2023年、中国をトップとした国民が最も多かったのは、マレーシア(72人)、シンガポール(63人)の二カ国だった。前述の「現在、重要なパートナー国」では、四ヶ国からトップとして認識された中国であるが、「最も信頼できる国」としての評価は今後、日本を上回るのだろうか。

### 1.2.3 ASEAN

2023年、ASEANをトップとした国民が最も多かったのは、ラオス(51名)、マレーシア(72人)、シンガポール(63人)、インドネシア(96人)、ブルネイ(84人)だった。一方、タイ人はわずか21人で回答者の国で最も少なかった。

図・表 1-2 最も信頼できる国・地域

単位：人

最も信頼できる国・地域	あなたの国										総計
	タイ	ラオス	ミャンマー	ベトナム	マレーシア	カンボジア	シンガポール	インドネシア	フィリピン	ブルネイ	
<b>日本</b>	<b>397</b>	<b>145</b>	<b>304</b>	<b>448</b>	<b>165</b>	<b>377</b>	<b>103</b>	<b>239</b>	<b>292</b>	<b>174</b>	<b>2,644</b>
2023	108	15		87	33	66	30	24	48	48	459
2021	72	15		99	15	78	6	54	63	21	423
2019	99	27	183	111	66	129	27	87	81	42	852
2017	118	88	121	151	51	104	40	74	100	63	910
<b>中国</b>	<b>283</b>	<b>177</b>	<b>69</b>	<b>21</b>	<b>331</b>	<b>310</b>	<b>171</b>	<b>211</b>	<b>102</b>	<b>96</b>	<b>1,772</b>
2023	51	21		6	72	45	63	66	15	42	381
2021	69	96		3	84	111	36	57	30	27	513
2019	93	36	27	6	99	90	36	45	21	3	456
2017	70	24	42	6	76	64	36	43	36	24	422
<b>米国</b>	<b>153</b>	<b>33</b>	<b>48</b>	<b>180</b>	<b>63</b>	<b>144</b>	<b>205</b>	<b>85</b>	<b>487</b>	<b>45</b>	<b>1,444</b>
2023	45	6		54	15	21	39	18	123	27	348
2021	45	18		48	15	57	42	27	117	3	372
2019	27	3	18	36	6	39	57	15	126	3	330
2017	36	6	30	42	27	27	67	25	121	12	394
<b>ASEAN</b>	<b>42</b>	<b>90</b>		<b>90</b>	<b>132</b>	<b>36</b>	<b>141</b>	<b>171</b>	<b>129</b>	<b>240</b>	<b>1,071</b>
2023	21	51		39	72	24	63	96	75	84	525
2021	21	39		51	60	12	78	75	54	156	546

最も信頼できる国・地域	あなたの国										総計
	タイ	ラオス	ミャンマー	ベトナム	マレーシア	カンボジア	シンガポール	インドネシア	フィリピン	ブルネイ	
<b>英国</b>	<b>39</b>	<b>39</b>	<b>3</b>	<b>12</b>	<b>36</b>	<b>15</b>	<b>51</b>	<b>15</b>	<b>9</b>	<b>189</b>	<b>409</b>
2023	3	21		6	9	6	3	6	3	18	75
2021	6	12		3	12	3	9	3	3	48	99
2019	6	0	0	0	3	3	24	0	3	96	135
2017	24	6	3	3	12	3	15	6	0	27	100
<b>EU</b>	<b>24</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>48</b>	<b>9</b>	<b>27</b>	<b>9</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>165</b>
2023	9	9		21	3	15	3	9	3	3	75
2021	9	9		15	3	3	3	6	0	3	51
2019	6	0	3	12	3	9	3	3	0	0	39
<b>ロシア</b>	<b>12</b>	<b>42</b>	<b>18</b>	<b>195</b>	<b>15</b>	<b>21</b>	<b>0</b>	<b>75</b>	<b>27</b>	<b>6</b>	<b>412</b>
2023	6	3		48	6	12	0	33	0	3	111
2021	0	15		36	3	0	0	9	3	0	66
2019	3	6	12	60	3	0	0	18	15	0	117
2017	3	18	6	51	3	9	0	15	9	3	118
<b>その他</b>	<b>3</b>	<b>216</b>	<b>9</b>	<b>6</b>	<b>12</b>	<b>21</b>	<b>24</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>21</b>	<b>319</b>
2023	0	24		0	3	3	3	0	0	0	33
2021	0	6		3	3	3	6	0	0	12	33
2019	0	162	3	3	6	6	9	0	0	9	198
2017	3	24	6	0	0	9	6	3	3	0	55
<b>サウジアラビア</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>96</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>167</b>	<b>6</b>	<b>87</b>	<b>377</b>
2023	0	6		0	15	3	0	18	6	48	96
2021	0	3		0	12	3	0	30	0	3	51
2019	0	0	0	0	21	0	0	51	0	33	105
2017	0	3	3	0	48	0	0	68	0	3	125
<b>総計</b>	<b>954</b>	<b>773</b>	<b>458</b>	<b>1,000</b>	<b>859</b>	<b>958</b>	<b>704</b>	<b>985</b>	<b>1,059</b>	<b>865</b>	<b>8,614</b>

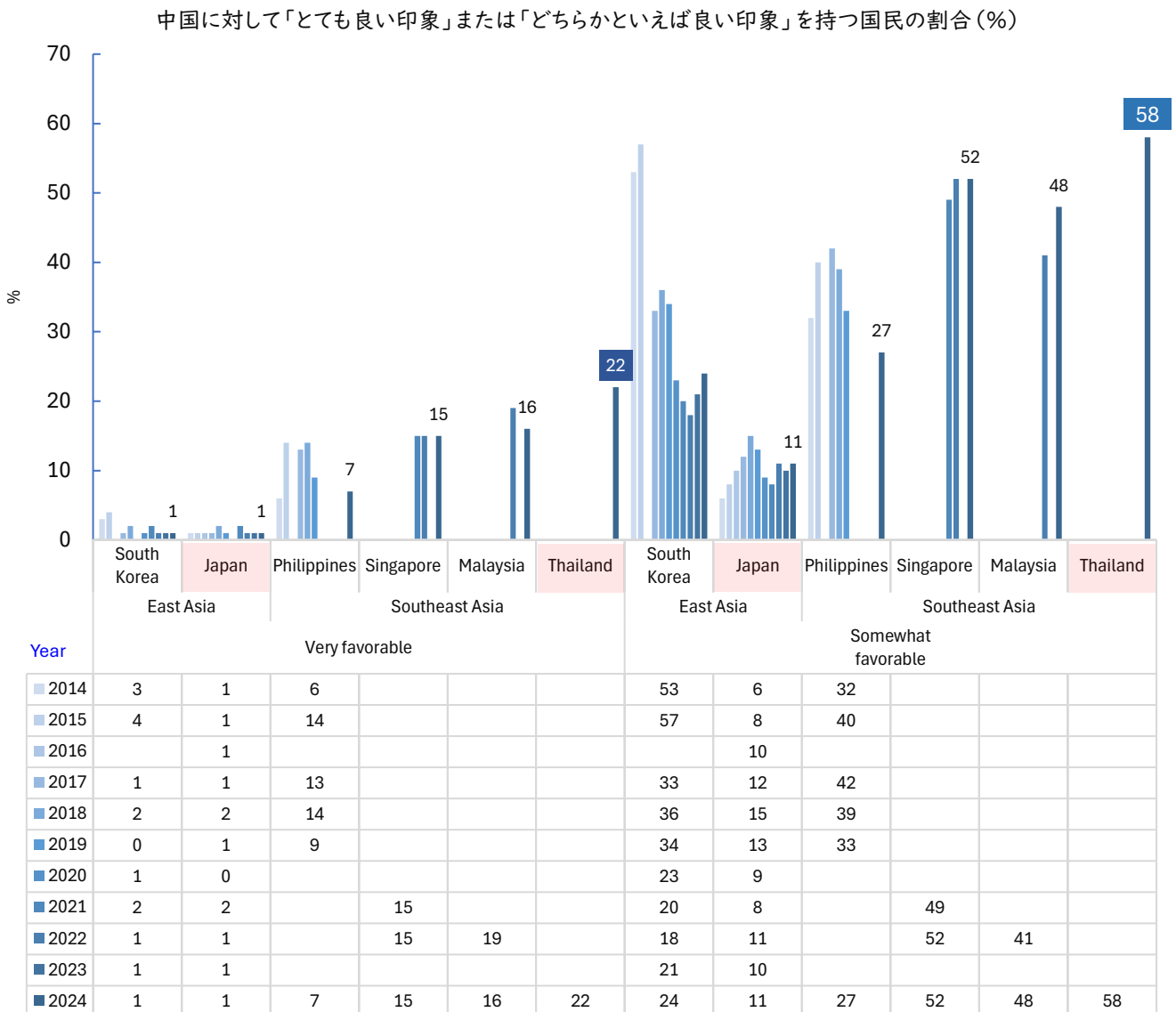
出所：外務省「海外における対日世論調査（令和5年ASEAN）」から作成

データの%表示を「実際の回答者数」に換算したことから、四捨五入のため合計が300人にならない場合がある。

## 2 各国における中国の印象(Pew Research Centre)

米国の Pew Research Centre は、中国の諸活動に関する各国の印象調査を定期的に行っている。本年は 1 月 5 日～5 月 21 日にかけて世界 35 ヶ国の成人 40,566 人への電話聞き取りを行った。その結果は “Most People in 35 Countries Say China Has a Large Impact on Their National Economy” としてまとめられた。それによれば、中国による自国への影響は「very favorable: とても良い印象を持つか」または「somewhat favorable: どちらかといえば良い印象を持つか」とした 2 つの設問(本年)で、日本人がそれぞれ 1%、11%、タイ人は 22%、58%であった。残念ながらタイに関する過去の調査結果は見つからなかった。

図・表 2-1 中国の諸活動に対する各国の印象



出所: Pew Research Center のデータから作成

<https://www.pewresearch.org/global/2024/07/09/most-people-in-35-countries-say-china-has-a-large-impact-on-their-national-economy/>

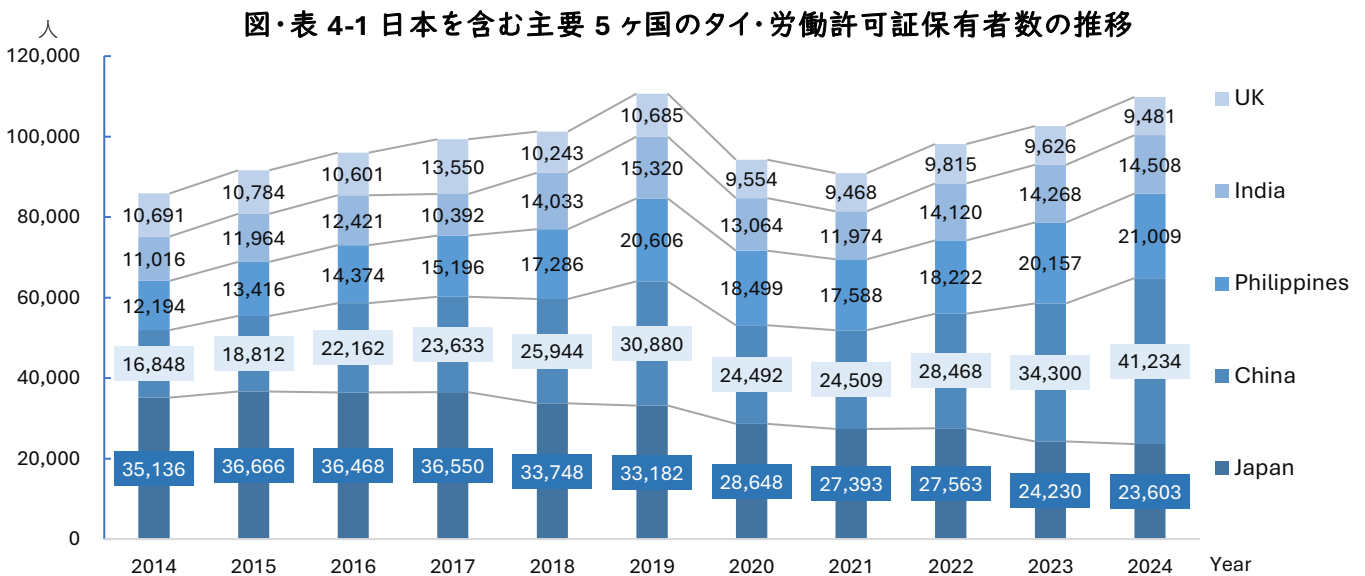
### 3 劣勢に立つ日本

タイでは総人口(6,600万人)の約13%(860万人)を占める中華系タイ人(華人)が、産学官のいずれにおいても重要なポジションを確保している。それら華人は今でも「**中国に郷愁の念を抱いている**」ことにくれぐれも配慮する必要がある。例えば中国系EV車が突如の大幅値引きで既購入者の不審を招いているにもかかわらず、タイ社会で急速に普及している<sup>2</sup>。もっともタイ人の中には、中国系EV車を日系メーカー車と誤って購入しているフシもある。さらバンコクでは最近、日系車のほぼ独占領域であったタクシーにまでいろいろなロゴのEV車を見かける。

タイにおける日系の劣勢は様々な分野で顕著だ。**タイ医療界の頂点に立つマヒドン大学シリラート病院(バンコク都)では2021年12月、5G対応のスマートホスピタル事業を中国大使館の強力な支援の下、HUAWEI社が受注した<sup>3</sup>。この事業は病院内のDX展開はもとより、救急車両の運行システムまでカバーする。DXを活用した化学プラントの安全防災(ビジネス)展開も同様かもしれない。自戒の念を込めて、『スマート過ぎるビジネスを従前通りに継続しているは、異なるステージで活動する競合国に勝てなくなった。』**

### 4 もはや日本人がメジャーではない:タイの労働許可証保有者推移

図・表4-1に日本を含む主要5ヶ国のタイ・労働許可証保有者数の推移(毎年9月時点)を示した<sup>4</sup>。日本は2015年の36,666人をピークに、2019年まではなだらかな減少傾向を示したものの、3万人台を維持していた。ところがコロナ以降の減少は顕著で、2024年9月時点では23,603人まで続落し、中国人・労働許可証保有者が日本人のそのの1.7倍の41,234人だ。**もはや日本人が(タイにおける知的労働力供給面で)メジャーではなくなった**。中国人・保有者の急増は、EV産業の浸透も要因の一つだろう。



出所:タイ国労働省データから作成

<sup>2</sup> <2024年5月号>最新レポート「タイにおける現地情報」<https://www.f-abc.org/news/199/>

<sup>3</sup> <https://www2.si.mahidol.ac.th/en/news-events/siriraj-jointly-launched-siriraj-world-class-5g-smart-hospital-with-nbtc-huawei/>

<sup>4</sup> タイでは近隣国を除き、労働集約型産業に従事する外国人に労働許可証は発給されない。つまり外国人には職業選択の自由はない。

## 5 まとめ

### ■ 本邦外務省の「海外における対日世論調査」

- 1) 2023 年調査で日本を「**現在、重要なパートナー国**」のトップに選択（複数回答可能）した ASEAN 9 ヶ国（ミャンマーを除く。）は、インドネシア（59%）、フィリピン（61%）、ベトナム（68%）の 3 ヶ国に止まった。タイで日本は中国に次ぐ 2 位だった。
- 2) 同調査で日本を「**最も信頼できる国**」のトップとしたのは、タイ（108 名）に加えてベトナム（87 名）、カンボジア（66 名）のわずか 3 ヶ国であった。

### ■ 各国における中国の印象

- 1) 中国による自国への影響は「**とても良い印象を持つか**」または「**どちらかといえば良い印象を持つか**」とした 2 つの設問で、日本人がそれぞれ 1%、11%であるが、タイ人は 22%、58%であった。

### ■ 劣勢に立つ日本

- 1) タイにおける日本の劣勢は様々な分野で顕著だ。例えば、DX による医療、化学工業分野など。
- 2) 従前たるビジネスを継続しては、競合国に勝てなくなった。

### ■ もはや日本人がメジャーではない：タイの労働許可証保有者推移

- 1) 2024 年 9 月時点で邦人・労働許可証保有者は 23,603 人にまで激減。ピークは 2016 年の 36,666 人。
- 2) かたや中国人・労働許可証保有者が邦人のそのの 1.7 倍で 41,234 人になった
- 3) もはや邦人が（タイにおける知的労働力供給面で）メジャーではなくなった。

以上